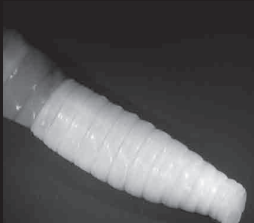


VOL.62



NO.633
MARCH
APRIL
2021

私たちの自然

第 62 巻 No.633 2021 年 3・4 月号



特集 日本の自然を支えてきた仲間たち

- 2 日本野鳥の会の過去 50 年の歩みとこれから (遠藤孝一)
- 4 日本鳥学会の 50 年、そして未来へ (上田恵介)
- 6 日本自然保護協会の 50 年を振り返り、
向こう 50 年を見通す (亀山 章)
- 8 世界の自然環境の 50 年とこれからの未来に向けて (東梅貞義)
- 10 山階鳥類研究所のこれまでと今後 (尾崎清明)
- 12 生きものはつながっている
田んぼで子育てをするケリ (脇坂英弥)
- 14 生きものはつながっている
ミミズは地上のいのちを支えている (伊藤雅道)
- 16 バードピアをそだてよう！
～チャドクガ対策～ (連盟 バードピア推進室)
- 17 全国一斉テグス (釣り糸) ひろい 2020 報告
- 18 身近な自然再発見 第 3 回 (連盟 編集部)
- 20 奄美大島において鳥類保護のための活動を開始します！
- 21 書評コーナー (小宮輝之)
- 22 連盟だより
- 23 インフォメーション
- 24 使用済み切手・カード類提供のお願い／商品の注文について／
バックナンバーの提供について／会費の振替用紙について／広告募集／編集後記

ネイチャーフォト

サギ類の捕食 (江口欣照)

植物豆知識 < 15 > 常緑の薔薇？ ツバキ (椿) (杉崎光明)

スタッフだより

耳をすませば (山本修一)

表紙のことは

脇坂英弥 (京都府京都市)

田園風景にとけこむケリ

(2020 年 5 月 18 日、京都府久御山町にて撮影)

農地に響く甲高いケリの声。フィールドにしている巨椋池干拓地では、春の訪れを本種の声で感じることができます。人工的につくられた水田環境に適応したケリは、農家の方々にも認められ、今や田園風景に欠かせない存在となっています。

